

令和5年3月13日

総務部総務課長 様

生涯学習課長 竹内 克之

会 議 要 録

名 称	令和4年度西予市放課後子ども総合プラン運営委員会	
開 催 日 時	令和5年3月1日(水) 13:30~15:15	
開 催 場 所	西予市教育保健センター4階大ホール	
出席者	委 員	会長：河野直樹、副会長：大塚晶司、委員：賀原浩文、松本智恵、岩本数明、山下由紀江、福岡順子、三好仁美、樋口志保、宇都宮伸郎、金子文、稲井稔己、山田里香、前田寛明（代理）、鈴木和美、藤原俊邦、奥山孝司（代理）、宮本純夫、清家久美子、河野紗弥香 計20名
	担当課等	教育部長：宇都宮裕、竹内克之、芝陽介、池田瑞恵、中村奈央子、宇都宮愛樹、兵頭祥平、梶原健司、山下剛史、安部田雅也
	事務局	生涯学習課 森本裕恵 計11名
議事内容(要旨)	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 挨拶</b> 宇都宮教育部長</p> <p><b>3 自己紹介</b></p> <p><b>4 会長、副会長の選任について</b> 運営委員会設置要綱第3条に基づき、自薦・推薦について諮ったがないため、事務局提案について諮り、会長に河野直樹氏、会長指名にて副会長に大塚晶司氏が選任される。</p> <p><b>5 協議事項</b> (1) 西予市新・放課後子ども総合プラン行動計画について</p> <p><b>【事務局説明】</b> <b>【事務局関連説明】</b>R5.2.15に開催された子ども子育て会議において、「西予市は、放課後児童クラブと放課後子ども教室のどちらを推進するのか？」という質問に対する回答。 この二つの事業は、目的や条件も違い、子どもの希望や保護者が子どものことや家庭のことを考えて選ばれておりご理解いただきたい。</p>	

【竹内課長】 児童クラブと子ども教室についてですが、田之筋では、同地区を対象に含む児童クラブの拠点があるため隣の校区にあるため地元の校区に放課後子ども教室をつくろうと地域の体制を整えられて要望されたことから、市も支援していく必要があった。児童クラブの拠点がある校区から同様の要望を受けた場合は児童クラブへの影響を配慮し調整をしていかなければならない。下宇和公民館等で実施している単発の講座等については他の公民館でも実施する可能性はある。

【河野会長】 児童クラブは料金が発生するが、子ども教室はほぼ無料で、今後地域づくり活動センターでの活動が始まれば、地域(保護者)のニーズを踏まえながら今後検討する必要がある。アンテナを張っていてほしい。

西予市新・放課後子ども総合プラン行動計画について承認いただくか。

【委員】 全員承認

(2) 放課後児童健全育成事業について

① 放課後児童健全育成事業について

【子育て支援課説明】

② 各放課後児童クラブの実施状況・課題、来年度の計画等について

【各放課後児童クラブからの報告】 9施設

【河野会長】：放課後児童クラブの課題についてまとめますと

- ・保護者のニーズが多様化している
- ・長期休業中の利用や職員の勤務体制や負担
- ・複数の学校が利用している放課後児童クラブの職員の勤務体制
- ・遊び場の確保
- ・放課後児童クラブの認知度が低いので学校を通しての周知が必要
- ・障がいのある児童への受け入れ体制、学校・保護者との連携の必要性

令和5年度放課後児童クラブ入所申込状況について

【子育て支援課】 令和5年度は、3クラブで待機児童がおり合計が15名になっている。

【河野会長】 トトロクラブの11名の待機児童の今後の対応はどのようなになっているか？

【トトロクラブ(宇都宮委員)】今ところは受け入れできないが、空き次第順位に沿って声をかけさせてもらう予定。

【河野会長】できるだけ待機児童がゼロになって、皆のニーズに応えられるようにお願いします。

(3) 学校・家庭・地域連携推進事業

① 学校・家庭・地域連携事業について

【事務局説明(生涯学習課)】

② 各事業等

【各放課後子ども教室からの報告】

【河野会長】特に来年度から、地域づくり活動センターとの連携が大切になってくる。今、公民館事業としてやっている分が、地域づくり活動センター化になった時にどのような取組に変えていくのか、どういう取組を新しくするのか、いろいろな取組が考えられると思う。コロナの影響で活動ができなかったが、それぞれの地区で工夫されながら、放課後子ども教室が充実していると思う。平成19年には、空き教室がないということで西予市では放課後子ども教室はできないということだったが、その後その他の施設、公民館等でも可能になり、それぞれの地区でできるようになりよかった。新しく地域づくり活動センターができて子どもたちのための居場所づくりが充実したら良いと思う。放課後子ども教室についても、それぞれ課題はありますが、今後考えていきたいと思う。

【家庭教育支援事業の報告(せいよ家庭教育・子育て応援グループ)】

【土曜教育活動の報告(事務局)】

【学び舎事業の報告(代理：事務局)】

(4) コミュニティ・スクール推進事業について

① コミュニティ・スクール実施状況について

【学校教育課説明】

【河野会長】コミュニティ・スクールについて学校の方から何かありませんか。

【岩本委員】スタートしてまだ間もないので組織が熟しておらず、課題や成果がそれぞれあるが、本校を例にすると、新しいシステムが入ると事務局の仕事が増え負担になっている。その辺で地域の協議会のメンバーの構成を年々少しずつ変えて、今本校には、地域おこしプロデューサーの方がいて、ネットワークを活かし地域と学校を結んでいただいているのでありがたい。他の学校でもコーディネーター的な役

割の方がいると良いという声がある。

【河野会長】コミュニティ・スクールが始まって間もない上にコロナにより連携ができず、また小学校と中学校では範囲も違うのでどのように連携していくか、色々な課題もあると思うが、地域づくり活動センターになったときにそこの連携を密にしながら、コミュニティ・スクールが充実するように、子どもたちのために何ができるかを考えられたら良いと思う。

## 6 地域づくり活動センターへの移行(令和5年度から)

(1)地域づくり活動センターにおける放課後子ども教室の在り方

【生涯学習課説明】令和5年度から、公民館が地域づくり活動センターへ移行されることに伴い、放課後子ども教室の実施方法の変更について説明。4月から公民館は、教育部局から市長部局の地域づくり活動センターへ移行される。それに伴いセンターに配属される職員は、政策企画部まちづくり推進課の職員になる。現在、公民館で実施されている放課後子ども教室は宇和の多田・中川・石城・下宇和公民館の4館で、年3回から6回程度の体験活動を実施している。4月からは職員の所属が変わるので、放課後子ども教室という教育委員会の事業をこれまでどおりセンターの職員に依頼することが難しく、令和5年度からは、該当地区の地域づくり活動センターへこれまでと同程度の事業量で委託したいと考えている。最初は、職員も含め連携協力しながら、地域づくり組織の方を中心として活動をしていただくようお願いしたい。なお、放課後子ども教室については委託事業となるが、その他の青少年の活動などの地域との連携については、今までどおり地域づくり活動センターの職員が推進していくことになる。

【河野会長】地域づくり活動センターができることにより、放課後子ども教室が生涯学習課から、地域づくり活動センターに委託されることになるが、充実した活動になるようお願いしたい。

【河野会長】全体をとおして質問はないか。

【河野会長】西予市新・放課後子どもプラン事業について、今までは、生涯学習課と子育て支援課と連携して実施していたが、生涯学習課がなくなったときにこの組織はどこが担当するのか。

【生涯学習課】教育委員会まなび推進課が所管する。

## 7 その他

【竹内課長】子ども家庭庁もスタートするが、児童クラブと子ども教室について市の対応も窓口一本化ができないものか、国の方は違う省

庁の事業で、子ども家庭庁ができて今のところ統合の予定はない。統合されるとわかりやすくなるし、色々な問題も解決されるのではないかと思うが、市の方も機会があれば国へ働きかけていきたい。この二つの事業を市としても支援していくのは難しいことだと感じているが、引き続き国の動き等も注視し、両方の意見も聞きながら進めていきたいと思うのでご理解をお願いしたい。

## **8 閉会挨拶**

**【大塚副会長】**

15時15分